

ノーベル医学賞の ワトソン博士講演

福岡市

DNAの二重らせん構造の発見で1962年にノーベル生理学・医学賞を受賞したジェームズ・ワトソン博士(85)が来日し、11月29日に福岡市博多区の医療法人「相生会」本部で医師ら約90人を前に講演した。写真。



相生会な
写真。

どによると、米国に住むワトソン博士は理化学研究所と長崎大の招きで11月19日に来日し、28日から今月2日まで福岡市に滞在。長野県の軽井沢や長崎大で講演した後、縁あって相生会も訪問し、がんに関して講演した。

会場には大学教授、福岡県内の開業医や勤務医も詰めかけ、ワトソン博士は現在のがん治療の問題点や新しい研究に触れながら、今後のがん医療について展望を語った。